

会 議 録

会 議 の 名 称	小金井市新庁舎・(仮称) 福祉会館建設 基本設計 第1回 こがねいミーティング
事 務 局	佐藤総合計画株式会社 公共施設マネジメント推進担当課長 企画政策課企画政策係主査 企画政策課企画政策係主任 福祉会館等担当課長 地域福祉課地域福祉係主査 渡辺 猛 河田 健 小塩 剛生 今井 哲也 渡邊 健介 小林 洋輔 萩野 裕人 前島 賢 山口 晋平
開 催 日 時	令和元年6月6日午後7時30分から午後9時10分まで
開 催 場 所	第一会議室
出 席 者	卯月 盛夫 委員長 金子 和夫 委員 齋藤 啓子 委員 上原 和 委員 坂野 勝一 委員 諏訪間 千晃 委員 中村 彰宏 委員 森田 眞希 委員 石塚 勝敏 委員 矢野 典嗣 委員 高橋 茂夫 委員
傍 聴 の 可 否	可
傍 聴 者 数	7人
会 議 次 第	1 開会 2 挨拶 3 市より趣旨等説明 (1) 会議等の公開・非公開について (2) 会議録等の公開・非公開について (3) 小金井市新庁舎・(仮称) 新福祉会館建設のこれまでの経過について (4) 新庁舎等建設に係る市民参加手法について 4 委員自己紹介 5 委員長の選出及び職務代理者の指名 6 技術提案書の内容説明 7 第1回市民ワークショップの概要 8 第1回ユニバーサルデザインレビューの概要 9 会議について (1) 「広場の使い方について」方針の検討 10 閉会
会 議 結 果	別紙のとおり
発言内容・発言者名 (主な発言要旨等)	別紙のとおり
提 出 資 料	資料1：こがねいミーティングメンバー名簿 資料2：新庁舎等建設に係る市民参加手法について 資料3：新庁舎建設基本計画等における広場の活用 資料4：第1回こがねいミーティング・アジェンダ

	資料5：第1回設計ワークショップ概要 資料6：第1回設計ワークショップまとめ 資料7：UD レビューヒアリングまとめ 資料8：こがねいミーティング テーマ 資料9：配置図(案)
そ の 他	—

次第1 開会

《次第及び配付資料の確認》

次第2 挨拶

《事務局挨拶》

次第3 市より趣旨等説明

《会議等の公開・非公開について説明》

《会議録等の公開・非公開について説明》

【事務局】 基本設計選考等委員会及び他の審議会等に準じて、会議、会議録は公開することとし、会議録作成方法は要点記録としたいが、いかがか。また、発言者については、委員名が特定できないよう、全て、委員として整理する。

(異議なし)

《小金井市新庁舎・(仮称)新福社会館建設のこれまでの経過について説明》

《新庁舎等建設に係る市民参加手法について説明》

次第4 委員自己紹介

《各委員自己紹介》

次第5 委員長の選出及び職務代理者の指名

【事務局】 事務局としては、「小金井市新庁舎建設基本計画」及び「小金井市新庁舎・(仮称)新福社会館建設基本設計委託事業者選考等委員会」の委員長を務めていただいた、卯月委員に委員長をお願いしたいと思うが、いかがか。

(異議なし)

【事務局】 委員長の職務代理について、推薦をお願いしたい。

【委員長】 齋藤委員をお願いしたい。

(異議なし)

次第6 技術提案書の内容説明

《技術提案書の内容について説明》

次第7 第1回市民ワークショップの概要

《第1回市民ワークショップの概要について説明》

次第8 第1回ユニバーサルデザインレビューの概要

《第1回ユニバーサルデザインレビューの概要について説明》

次第9 会議について

【委員】 広場周辺での子どもや高齢者の通行の安全性は確保してほしい。駐車場と歩行者通路との間に柵を設けたり、敷地内の長い車道にスピードバンプをつける等の配慮が必要である。しだれ桜が日の当たらない場所に配置されるので、成育に影響がないのか検証を行ってほしい。

小金井市を象徴する広場にするために、小金井市を代表する「はげ」と「坂道」のミニチュアで庭を構成してはどうか。ワークショップの意見にもあったが、地面が凸凹になっ

て踏み歩くことで健康に寄与するような機能があってもよいと思う。

【委員】 以前に私が参加したワークショップでも活動の広場にしてほしいという意見があった。広場を大きくとれるように地下駐車場を計画しても良いのではないか。免震構造の装置を地下に配置するのであれば、免震装置の層を地下駐車場にしてはどうか。

【佐藤総合計画】 技術提案の中でも庁舎の免震装置を配置する層に地下駐車場 43 台（公用車用）計画している。

【委員】 安全性に関して、駐車場出入口にブザー等の警報対策、敷地西側道路の信号は歩行者が渡る時間を延長するボタンを設置する等配慮してほしい。

【委員】 配付資料C案の臨時駐車場というのは、どういうものなのか。A案の普通の駐車場との違いはどういうものなのか、広場と普通の駐車場が両立する使い方のアイデアがあるのであれば教えてほしい。広場はどのような素材でつくられるのか。B案の駐輪場から施設までの距離について、高齢者や障害者の意見はどうかお聞きしたい。

【佐藤総合計画】 臨時駐車場は車が乗り入れることのできる荷重を想定しており、通常時は広場の使用を考えている。インターロッキング等の水も浸透するような舗装材もある。仕上げについても意見があれば議論してほしい。

【委員長】 緑化ブロック等、普段は活動するスペースで非常時は駐車場にする仕上げもある。

【委員】 そのような仕上げであれば市民の方も広場として利用出来ると考えられる。

平置き駐車場と広場スペースは災害対策では有効に活用可能と考えている。そういう意味では現在出している案はとても良いと思っている。この災害対策の意味合いがあまり理解されていないように思うので、ワークショップや今日のこがねいミーティングでも解説されると良い。

【佐藤総合計画】 福祉会館のピロティ部分について、日常は雨が防げる大きな車寄せが、災害時には物資搬入場所となったり、人々が寄り添える大きな災害対策広場になるように考えている。広場の樹木配置に関しても災害時も想定して今後検討する。

【委員】 敷地内の駐輪場に関して、自転車から降りて庁舎や福祉会館まで歩くには少し遠いように感じる。高齢者・障がい者への配慮も必要ではないか。

【佐藤総合計画】 駐輪場の配置は、なるべく自転車を降りてから歩く距離が短くなるように敷地内の各出入口付近に配置する計画を考えている。

【委員】 現状の市役所の駐車場の稼働率について確認をお願いします。

【事務局】 現状の庁舎駐車場は 80 台程度。稼働率に関しては、庁内で確認して次回以降にお示ししたい。

【委員】 広場の地面の素材は、雨が降った際に滑りにくい物を採用し、災害時にも継続的に使用可能となるように検討してほしい。熊本地震の際には路面が波打ってしまい、テントも張れず人力で物を運ぶのに困難な状態だったと聞いている。

ベビーカーに乗っている子どもたちは地面に近い。日射によって路面温度が高くなり過ぎないようにする配慮も必要ではないか。

【委員】 駐車場の必要台数を把握するために、本庁舎と第二庁舎の駐車場の現状分析を行う必要がある。

安全性の確保の面では、ワークショップで意見があった地下駐車場の採用に賛同する。利用者の安全性を担保しながら十分な広場が確保可能と考えられる。

なるべく車ででの来庁者を減らすために、COCO バスルートの再検討等を行いながら、駐車スペースの縮減についても検討する必要がある。

【委員】 技術提案書の計画は、ボリューム配置が秀逸である。グランドレベルの床を確保するため、福祉会館を1層浮かして、庁舎も床を確保するために低層部を削り取っている。広場を展開するためはかなり努力されている。その上で地下駐車場の一部を市民利用としても良いと考えられる。

「小金井ひろば」のコンセプトを発展させて、配付資料 B 案の臨時駐車場の配置を福祉会館側に寄せると、福祉会館は雛段状になっているので、臨時駐車場から福祉会館にアクセス可能な階段を設けて、回遊性を持たせながら広場同士が立体的に繋がるようにして広場を広げるという考えもあるのではないか。広場を立体的につなげることで「小金井ひろば」の特徴を持たせてはいかがか。

駐車場の設えに関しては、樹木の間駐車する形でも良いと思う。

【委員】 市民活動団体の催しを行う視点から福祉会館側に広場があった方が良いと考えられるので、福祉会館側に広場を寄せる意見に賛同する。市民活動の催しが頻繁に行えることが望ましい。広場の近くに電源等の設備を設置するとお祭りなど市民が利用するときには便利だと思う。

【委員】 基本的に広場を大きく確保する仕組みとして駐車場台数について再検討が必要と考えられるが、福祉会館に関しては、福祉会館に入る保健センター、子ども広場等の用途を考慮すると既存市役所の稼働率の分析だけでは参考にならないと考える。

広場の仕上げに関しては、段差を設けない等障がい者や高齢者への配慮が必要である。

【委員】 現状の暫定広場は季節によって日の当り具合が変化するなど、毎日人々が集まり愛されているスペースということがわかる。

別の視点から意見を述べると、リサイクルセンターを残したまま設計を行うことは、本来であればマイナス条件だと思う。デメリットをメリットに変えるための工夫としてリサイクルセンター移設までの期間を利用して、舗装材の実験や植物の経過観察など、現状広場を利用している市民が積極的に参加できるプログラムができると良いのではないか。

【委員】 一定の駐車場台数を確保しないと満車状態になった際に、渋滞が発生し、安全性が損なわれる可能性があるため、適切な分析を行った上で、必要台数を決定する必要がある。また、広場を確保しながら歩車分離を徹底した方が良い。

【委員長】 歩行者と車の安全性について第一に考えて整理する必要がある。

駐車場必要台数の決定方法について、改めてリサーチデータをいただいて安全性を考慮して次回議論する。

【委員】 駐車場の台数に関して、敷地の立地条件なども考慮したうえで反映できた方が良いのではないか。

【委員長】 また、COCO バスルートの見直し等の条件を踏まえて検討できると良い。

臨時駐車場、臨時広場の設えや使い方を整理すると、福祉会館4階の屋上広場の利用の可能性も向上する。

本計画では工事期間が長いと、緑の拠点として植物や樹木に関しても検討できるようにしてほしい。

災害時の広場の使われ方についても、市民が日頃から認識できるような工夫があっても

良いのではないか。

**【委員】** 広場の防災面について、マンホールトイレの設置等もご検討いただき、防災訓練でも使用できると良い。

**【委員長】** 本日の意見をまとめていただいで、引き続き次回議論することとしたい。  
以上で本日の会議を終了する。

以上